

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)	◎	観光名所（従業員）	来客数の動き	・3月としては、過去最高の利用者数が見込まれる。インバウンドがますます勢いを増しており、国内観光客も若者から年配者まで幅広い世代による利用がみられ、悪天候の日以外は大盛況が続いている。また、例年と比べて、悪天候の日が非常に少ないこともプラスとなっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数、買上点数が回復している。加熱式たばこの値上げ前の駆け込み需要がみられたこともプラスであった。
	○	衣料品専門店（エリア担当）	来客数の動き	・客が欲しいと考える人気商品やトレンド商品を店頭に並べるとよく売れており、口コミで更に客が来店するという動きもみられる。身の回りの景況感は、全体的な景気の良しあしによって影響される部分があるものの、客が必要としている商品があるかどうかで、上向きにも下向きにもなる。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今年は雪解けが早かったため、春先需要がかなり伸びている。報道などで自動車メーカーのネガティブな話題が出ていたものの、3月一杯で終了する低金利施策が多く、駆け込み需要がみられたことがプラスとなった。
	○	自動車備品販売店（店長）	販売量の動き	・雪解けが早く進んでいることで、例年よりも2週間ほど早く、夏タイヤが売れ始めている。タイヤの売上は前年比115%、来客数は前年比105%といずれも伸びている。
	○	その他専門店 〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・前月までは悪天候の日が多かったが、3月に入り、天候の良い日が増えている。雪解けも早く進んでおり、それに伴って客足も回復し始めている。当店の客層が、高齢者中心であることを改めて実感している。
	○	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・都市部を中心に、大型商業施設などでのイベント開催が増えたことで、客が外出する機会が増えており、それに伴って、店舗への来客数や問合せが好調に推移している。一方、北海道全体でみると、物価の上昇、光熱費の負担増の影響もあって、出費に慎重な客が増えている。必要なサービスは利用しつつも、料金や内容を細かく確認する動きが目立つようになっている。消費意欲は緩やかに持ち直しているものの、客による選別が進んでいることがうかがえる。
	○	美容室（経営者）	販売量の動き	・売上が回復していることから、景気はやや良くなっている。
	○	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・車両での利用が増加している。特に、水産物の輸送を行っている車両の増加が目立っている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・物価の上昇が続いていることで、質の良い商品や価値のある商品など客が欲しいと思う商品については、値段が上がる前に、早めにお買おうという雰囲気がみられ始めている。
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・この時期は歓送迎会などの宴会が多く、夜間にはぎわいがみられる。一方、昼間の人通りは少ないままである。	
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・3月はコンサートなどのイベントがあったことから、多くの客が北海道に訪れ、当店の売上にもプラスの効果がみられた。ただし、こうしたイベントの影響を除くと、景気は弱含んで推移している。日常生活における様々な物の値上げに加え、中東情勢の影響による心理的な抑制などもあって、旅行に対する客の意欲がやや落ち込んでいる。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・客単価に変化はみられないものの、販売量に伸びがみられないことから、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・中国からのインバウンドが減少しているものの、その他の国や地域からのインバウンドは着実に増えている。一方、道内客の来客数や購入額は減少している。景気は3か月前と変わっておらず、しばらくは同様の傾向が続くと見込まれる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・春休みに入り、衣料部門、住宅余暇部門では、社会行事や学校行事の関連商材が好調に売れている。一方、食品部門の動向は横ばいである。客の様子をみると、必要な物は買うものの、その分他の支出を抑えていることがうかがえる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（従業員）	単価の動き	・物価の上昇が続いていることから、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車受注の動きが鈍く、整備工場への入庫数も伸び悩んでいる。売上、利益共に、厳しい状況にある。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・引き続き新型車の販売台数に限りがあることから、欲しい客全員に提供できない状況にある。車両取得時の環境性能割が3月で廃止されることもマイナスとなっており、目標の販売台数に届かない状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車、中古車の受注状況は、3か月前と比べて余り変わっていない。前年との比較でも、ほぼ同じような水準となっている。一方、車両取得時の環境性能割が4月から廃止されることで、車両登録や納車が4月にずれ込むケースが生じており、売上に多少の影響がみられた。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（役員）	販売量の動き	・3か月前と比べて、売上の前年比に変化がみられないことから、景気は良くも悪くもなっていない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔造花〕（店長）	お客様の様子	・客の買い控えが続いていることから、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・3月は、有名企業の送別会など新規客の利用が多く、前年を上回る売上が見込まれる。地元のなじみ客による利用は、高齢化が進んでいることに加え、物価高の影響もあって減少している。また、先日開催された高校の同期会の様子を見ると、同期生の多くが自身の健康不安や親の介護などで出席できない状況であった。外食の利用が活発な人は、金や時間に余裕のある元気な人だけであることがうかがえる。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・冬季観光シーズンが終了に近づいているものの、台湾を中心としたインバウンドが堅調に推移した。国内客についても、それほど落ち込みがみられなかった。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・来客数の減少が続いている。ただし、減少幅に大きな変化はみられないことから、景気は横ばいで推移している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・特に大きな行事やイベントもなく、販売量を大きく押し上げるような要因はみられなかった。全体の販売量は、大きな増減もみられず、前年並みで推移している。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	販売量の動き	・今年は雪解けが早かったことから、タクシー需要が低下しており、当初の見込みほどの売上とはならなかった。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・前月に引き続き、一般住宅の着工が少なく、非常に厳しい状況となっている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・金利の上昇や建築単価の高止まりが解消する見込みがないことから、厳しい状況が続いている。

▲	商店街（代表者）	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・今年雪解けが早かったことから、客の来店動向は順調に推移した。一方、原材料や資材などの価格高騰により、様々な商品が値上げラッシュとなっている。特に、北海道銘菓の多くを占めるチョコレート菓子については、カカオマスの原料不足を背景に、値上げが相次いでいる。販売価格と客の買い求めやすい価格にずれが生じていることで、販売量に落ち込みがみられ始めている。こうした状況はすぐには解消されないことから、今後の動向が懸念される。
▲	百貨店（売場主任）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・原油価格の高騰により、先行きへの不透明感が強まっていることから、客の購買頻度や買上単価に影響が出始めている。
▲	スーパー（店長）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・中東情勢の影響で、景気はやや悪くなっている。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の価格高騰が続いていることから、景気はやや悪くなっている。
▲	スーパー（企画担当）	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の春は、前年と比べると値上げ品目が少なく、値上げ幅もそれほど大きくないものの、エネルギーコストが上昇していることもあって、客単価に伸びがみられない状況となっている。来客数が前年並みで推移している一方で、客の購入量が減っており、景気はやや悪くなっている。
▲	スーパー（役員）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンの値上げが行われてから、急に客の買物金額が減っている。客の節約志向が強まっていることがうかがえる。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に入りインバウンドが減少していることで、来客数及び売上が減少している。ガソリン価格高騰の影響で、客の来店頻度も低下している。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・中東情勢の影響で原油価格が高騰し、今後の一層の物価上昇が懸念されることから、客の来店頻度が低下しており、無駄な物をできるだけ買わないようにしている。また、より安い物を買うため、ディスカウントストアにシフトしている傾向もうかがえる。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンの値上げが進み、国からの補助金が交付されているにもかかわらず、170円前後まで上昇していることから、週末の客の動きが余り良くない。こうした状況がしばらく続きそうなこともマイナスである。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰を背景とした客の買い控えが続いているなか、金利の上昇、ガソリン価格の高騰により、先行きへの不透明感が強まっている。客が高額商品の購買を控えるようになっており、景気はやや悪くなっている。
▲	スナック（経営者）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に入り、歓送迎会などは行われているものの、夜型飲食店への客足はやや少なくなっている。
▲	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は冬季観光のシーズンがほぼ終了し、北海道観光をけん引しているインバウンド需要の端境期となっている。また、国内客についても、物価高騰の影響により、支出を抑制する傾向が強まっており、国内線利用者の動きが鈍化している。
▲	旅行代理店（従業員）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・中東情勢の影響により、原油価格が高騰していることで、航空運賃が上がり、それに伴って旅行代金が増えることを懸念している客が増えている。営業先において、海外旅行のみならず、国内旅行も敬遠されるという話を聞く機会が増えている。
▲	タクシー運転手	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に入ってから、暖かい日が多く、例年より雪解けが早かったことから、雪の多かった2月までと比べると、タクシーの利用客が大きく減っている。また、前年12月から適用された冬季割増運賃が3月27日で終了することもマイナスである。前年と比べると、冬季の運賃は約10%の値上げとなっているものの、稼働しているタクシー1台当たりの売上は前年を下回った。

	▲	タクシー運転手	販売量の動き	・タクシー運賃の改定により、冬季割増運賃を設定した初めてのシーズンであり、前月までは好調に推移したものの、3月に入り暖かい日が増えてきたことで、景気はやや悪くなっている。一方、運賃の改定に対して、客から否定的な意見は全くみられず、肯定的な意見が多かったことから、値上げに対する客の許容度が上がっていることがうかがえる。
	▲	タクシー運転手	来客数の動き	・物価高騰の影響で、人の動きが鈍くなっていることから、景気はやや悪くなっている。
	▲	タクシー運転手	来客数の動き	・雪解けが進み、路面状況が良くなったことから、タクシーの利用者数が減少傾向にある。
	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・3月中旬から灯油代が大きく値上がりしたことで、客が支出を控える傾向がみられ始めている。当店の来客数も、月後半になってから減少している。北海道は灯油の使用量が多い地域であることから、影響が顕著に現れているとみられる。
	▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・客の来店頻度が低下している。
	▲	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・分譲マンションのモデルルームを来訪する客の購買意欲は全体的に低下している。ただし、一部の客はよく検討したうえで、相対的に価格の安い完成物件を購入している。
	×	一般小売店（経営者）	来客数の動き	・中東情勢の影響で、景気が急激に悪化している。
	×	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・新生活需要の高まる時期を迎えているものの、価格を気にする客がとて増えており、購入に至らないケースが多くみられる。
	×	その他専門店 [ガソリンスタンド]（経営者）	単価の動き	・中東情勢の影響により、原油価格の高騰がマイナス要因となっている。石油製品の仕入価格が、公表されている以上に上昇しており、利益が圧迫されている。
	×	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・観光の閑散期となり、中国からのインバウンドもほとんどみられないことから、来客数は大きく減少している。それに伴って、当社の業績も悪化している。
	×	高級レストラン（スタッフ）	競争相手の様子	・3か月前と比べると、景気は悪くなっている。ただし、地域全体の景気については、他社の状況を踏まえたうえで、判断したい。
企業 動向 関連 (北海道)	◎	—	—	—
	○	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・雪解けが一気に進んだことで、現場作業や移動時間の効率が改善している。年度内工事は全て順調に完工しており、見込みを上回る追加工事が利益を押し上げている。完工高、利益共に、前年度を上回る好調な決算が見込まれる。
	○	通信業（営業担当）	取引先の様子	・北海道に進出してきた半導体関連企業の計画が順調に進んでいることがプラス要因となっている。
	○	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・当社の売上は順調に推移している。
	○	その他サービス業 [建設機械リース]（営業担当）	取引先の様子	・中東情勢の影響による不確実性は増しているものの、国内建設投資は、公共投資も民間設備投資も堅調に推移している。
	□	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・青果物の収穫量が全体的に不足している状況は継続しているものの、景気は徐々に良くなっている。
	□	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3月に入ってから、好調に推移しているものの、人気アイドルグループのコンサート開催による恩恵も大きいことから、一概に安心できる状況とはいえない。
	□	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・案件はあるものの、人材不足で受注できないケースが多いことから、景気にプレーキが掛かっている。
	□	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3月上旬までの悪天候の影響で、作業が遅延したことで、月全体の売上にもマイナスの影響が生じている。一方、乳製品関連については、牛乳の消費が伸び悩むなか、倉庫保管量が積み上がっている。トレーラー輸送は、年度末需要もあって、雑貨に動きが出ている。

	□	コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・取引先の様子をみると、給与アップが着実に進んでいるものの、全体的にみると、物価の上昇スピードに追いついていない企業が多いことから、景気は変わらない。
	□	その他非製造業 〔鋼材卸売〕 （従業員）	受注量や販売量の動き	・新年度を控えているものの、スタートの動きが余り良くない。中東情勢の影響により、様々な製品において、原材料などが入手困難になっており、それを理由とした出荷制限なども行われている。価格も上昇しており、以前のように、製品を購入することが難しい状況となっている。
	▲	食料品製造業 （従業員）	受注量や販売量の動き	・価格改定を行ったところ、受注量が減り、売上も減っている。
	▲	食料品製造業 （従業員）	受注量や販売量の動き	・3月の販売量は前年比11%減少した。3か月前の販売量は前年比8%減少したことから、景気はやや悪くなっている。
	▲	家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・中東情勢の影響が出始めていることで、景気はやや悪くなっている。
	▲	金属製品製造業 （従業員）	受注量や販売量の動き	・出荷量が減少している。3年前と比較すると半減している。
	▲	建設業（経営者）	取引先の様子	・燃料価格が上昇しているなか、価格が高騰する資材もみられ始めている。全てを価格転嫁できるか不透明なことも不安材料となっている。
	▲	輸送業（支店長）	受注価格や販売価格の動き	・例年よりも雪解けが早く進んでいるものの、荷動きは今一つである。燃料価格が高騰していることもあって、取引先の動きが慎重になっている。
	▲	金融業（従業員）	取引先の様子	・販売価格や受注価格を引き上げている企業の割合が徐々に低下している。一方、販売量が減少している企業の割合が徐々に増加している。企業においては、人件費、諸経費の増加が続いていることで、収益が圧迫されており、景況感はやや悪くなっている。
	▲	司法書士	受注量や販売量の動き	・受注量が減少傾向にあること、物価が上がり続けていることから、景気はやや悪くなっている。国による物価対策などの効果が出てくることを期待したい。
	▲	司法書士	受注量や販売量の動き	・例年と比較して、売上は悪くないものの、3か月前と比べると落ち込んでいる。
	▲	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・周りの企業から、3月を迎えて終了する仕事が多いなか、新しい仕事が決まらないという話を聞くことが多い。人余りが発生している状況にある。
	×	—	—	—
	◎	—	—	—
雇用 関連 (北海道)	○	人材派遣会社 （社員）	採用者数の動き	・企業の求人は引き続き堅調に推移している。企業との採用面接数が3か月前の約2倍となっていることから、企業は採用活動に積極的であり、業況が良くなっている様子がうかがえる。4月になり、新卒が入社したとしても、即戦力人材の採用は、今後も増えると思込まれる。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・季節要因を除くと、3か月前と比べて、求人数に大きな変化はみられない。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・採用環境に大きな変化はみられず、求人数は横ばいで推移している。新卒採用の難しさが続くなか、一部では中途採用にシフトする動きもみられるものの、全体としては力強さに欠ける状況が続いている。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は5か月連続で前年を下回っているものの、求人数の減少幅は縮小している。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・当地における2月の有効求人倍率は0.79倍であり、前年を0.04ポイント下回り、7か月連続で前年を下回った。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・企業において、積極的な採用活動が続いている。求職者についても、年度末を迎え、動きが活発になっている。
	□	学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・人手不足が慢性的な業界が多いことから、特に変化はみられない。

▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数が、長期にわたって減少している傾向に変化はみられない。ただし、求人広告や他の媒体での採用経路が増えていることが要因であり、景気の悪化によるものではないと考えられる。一方、物価高が続くなか、原油の供給体制に不安が生じていることから、多くの業種で先行きを懸念する話を聞く。
×	求人情報誌製作会社（編集者）	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・先行きへの不透明感が強まっていることで、企業の採用活動にも影響がみられ始めている。業種にかかわらず、採用を厳選する傾向がみられており、採用数もかなり少なくなっている。